

優秀賞 辰口中央小学校父母と先生の会

卒業号、入学号ともに子どもたちの感謝や意気込み、保護者の応援など、コメントを中心とした温かみのある紙面構成となっている。地域との交流行事も写真説明つきでとても読みやすい。また雰囲気が伝わるよう写真に吹き出しを付けるという工夫が光る。

入学に寄せて

東 紘里

入学して

澤田 智子

笑顔で「いつてらっしゃい」

山下 恵美

入学してから、あつという間に「か月がたちました。朝起きるのが苦手だけど、眠い目をこすりながら、何とか起きられるようになります。同じ保育園から小学校に入るお友だちが一人もいなくて、「からの友だちづくりでした」と嬉しい思います。お兄ちゃんやお姉ちゃんが宿題をするのを見て、勉強に憧れていた空は、「お兄ちゃんになつた気がする」と勉強も楽しそう。これから楽しい」とだけでなく、大変なことも出てくると思うけれど、頑張って乗り越えていて下さい。友だちを大切にして、六年間の小学校生活でいっぱい思い出をつくってね。

入学してから一か月が経とうとしています。小さな体に大きくて、重たいランドセルを担ぎ、ちゃんと通学できるのか心配と不安でいっぱいでした。初めての場所や、初めて会う先生、お友達にドキドキとワクワクだったと思います。どうしても慣れるのに時間がかかるつてしまふ紫織。この先六年間の小学校生活、楽しい事、辛い事、くじけそうになる事、色々あると思うけど、一步一步前に進んでいってね。まだまだ甘えん坊さんだけど、すてきなお姉さんに成長できよう応援しているよ。最後になつたけど、小学校入学おめでとう。

「さうきらの一年生」
山田 直子



入学に寄せて

山口 八重香

入学して想う

清水 千鶴

「この娘も小学生になるのか」不安な母をよそに、兄と同じ小学生になることが嬉しい娘。保育園の時より朝が早いこと、遠い小学校まで歩いて通わなければいけないこと、宿題、特に計算カード!!等、負けても、「ふーん?」「私は兄より上手くできるはず」そんな感じ。実際、春休みの学童ではすぐに新しい友達ができ、長い距離を歩いて帰つて来た時は達成感でいっぱいの笑顔。仲良し下校で初めで会つた子達とも「バイバイー」と手を振つたりあつて。学校での話も聞いてると、本人はあつていいな。初めて知ることがいっぱいです。初めて、そんな事思う間もない風。頼もしいな。嬉しいな。この学校での出来事、どれも正直に向き合つて生きる力にしてほしい。そう願つて支えて入学おめでとう。

入学してから早一か月がたちました。ぴかぴかの一年生になつた気分はどうですか。幼稚園のときは、朝もなかなか起きず、手を焼いたのも嘘のようで、今ではお姉ちゃんと一緒に起き、準備をしてずつと飾つてあつた体より大きなランドセルで、毎日学校へ元気よく「いつてらっしゃい」と言う姿が初々しく嬉しく思います。これから六年間は大変な時もあると思いますが、その分楽しいこともたくさんあります。先生の話をよく聞いて、たくさんのお友達と遊んで、「元気に学校生活を送つてほしい」と思っています。

